



最近では海外に新婚旅行に行く夫婦も珍しいくないが、新婚旅行で世界一周という夢を果たした夫婦は、どれほどいるだろうか。

桂川町土師の田中靖史さん・聡美さん夫婦は、平成25年10月から平成26年12月にかけて、この夢を成し遂げた夫婦。415日間、46カ国という壮大なハネムーンの軌跡をうかがった。

夢のきっかけはダイビング

「24歳の頃、サイパンで初めてダイビング(潜水)を体験したときの景色に感動したのがきっかけです。『世界にはすごい景色がある』と思いました」と、世界一周の夢へのきっかけを話す靖史さん。

その後、費用を貯めることはもちろん、雑誌などで海外のことを調べ、5年間夢をふくらませ続けた。そして、聡美さんと結婚した翌月の平成25年10月、西回りの世界一周を目指し、アメリカへと出発した。

「その夢をしつこく想い続ける」 新婚旅行は415日の世界一周



行き先はその場で決める
回った国は46カ国

行く国やルートは、ほとんどその場で決めていたという靖史さん。聡美さんも「現地の人や他の旅人におすすめの場所を聞いて、その場で行き先を決めてましたね。こういう旅をする人の中でも、私たちは特に行き先変更が多い旅人だったようです」と笑う。

最終的に回った国は46カ国。アメリカ、南米、ヨーロッパ、アフリカ、アジアと渡り歩き、特に印象に残った国はアルゼンチン、ブラジル、モロッコ、ナミビア、モザンビークなど。建造物や風景はもちろん、人の温かさにも多く触れる旅となった。

夢を叶えるために：
「しつこく想い続ける」

これからやりたいことについて、「写真展などを通して多くの人に、世界に飛び出すという選択肢をもってもらいたいですね」と笑みをこぼす靖史さん。

「夢を現実にするのは難しいことです。でも、まずは1つ夢を持って、しつこくその夢を想い続けることが大切だと思います。1つ夢を叶えると人生が変わるし自信もつく。そして、次の夢へと繋がっていくと思うんです」

そう話す真剣な眼差しに向こうに、田中さん夫婦の次の「夢」が続いている。

【田中夫妻が世界一周の間に撮り貯めた写真展が開催されます。詳しくは9ページ「図書館だより」をご覧ください】